



1982-2

No.161

【表紙】

雪のアルジャントウーユ

クロード・モネ

解説は29ページ

題字デザイン・桑山弥三郎

カット・林美紀子

もくじ

昭和56年度芸術祭回顧—音楽部門

多彩なプログラムと実り多い成果と
…上野 晃 4

昭和56年度芸術祭回顧—ラジオ合唱曲の部

合唱界に大きな刺激 …畑中 良輔 7

随想

美術館と環境 …小倉 忠夫 10

報告

東アジアにおける美術交流
…上野 アキ 12

イコム・保存委員会参加報告
…沢田 正昭 16

文化庁ニュース

昭和57年度文化庁予算案の概要…………… 19
重要無形民俗文化財の指定等について…………… 23

資料 文部省所管予算案の概要…………… 22

展覧会 〈生のまま〉の芸術—
ジャン・デュビュッフェ展…………… 26

国語シリーズ⑩ 「漢字の表記」に関する問題 28

国立劇場ニュース…………… 30

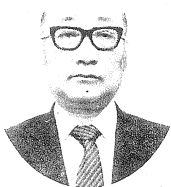
およそ美術館と、それが置かれている環境との問題は、美術館にとって基本的な条件をなすものの一つであろう。この観点からみると、世界中の美術館はその数だけそれぞれに異なった環境の中にあるにせよ、割り切つてしまえば、市街地型と公園型の二種に大別されるのではないかと思われる。

私の美術館勤務は、ちょうど三十年目になるが、最初の国立近代美術館は京橋交差点の近くにあり、昭和通の方を向いて一番高いビルです。などと人に教えたものである。現在の東京国立近代美術館フィルムセンターだが、今やこの四階建のビルは周囲の建物の高層化のために、一番低いビルになってしまったのではないだろうか。

当時、旧日活ビルを改装して発足した国立近代美術館は、その外観からも環境的にも明らかにニューヨーク近代美術館に範を求めたものであった。典型的な市街地型の美術館であり、銀座に隣接し、東京駅から歩いて十分、まことに足の便がよく、そしてビジネス・センターの中に位置することを特色としていた。それまでの東京国立博物館や都美術館が上野公園に鎮座しているのに対して、市街のど真中にできた京橋の近代美術館は庶民性があり、いかにも新鮮な美術館機能の匂いがしたのであった。因みに、同じく昭和二十七年に一足先に開館していたブリヂストン美

術館は市街地型であり、前年開館の神奈川県立近代美術館は公園型である。

もっとも、京橋が国立近代美術館の当初からの第一候補地ではなかったようだ。日比谷公園内に建設場所を求めて東京都の公園課に交渉して断られたという。日比谷の公会堂が日本の音楽界にいかにも多大な貢献をしたかを称揚し、美術界のためにも是非近代美術館を——と頼んだところ、あゝの公会堂を建てたのは公園行政史上の一大汚点である。との答えであったという。文化・芸術の物指と公園行政の物指とは、往々にして十の符号が正反対になることがあるらしい。このような昔のエピソードを思い出したのは、程度や事情の



環境 小倉 忠夫

(国立国際美術館長)

美術館と



随 想

ある。両館の発足以前には、右のような交通問題は全く解決されていなかったし、手をつけられてもいなかった。万博以前と以後との大阪府政の情勢変化も大きく作用したというが、公園の管理者は大蔵省系の日本万博記念協会である。同協会への両館の働きかけにより、現在までに団体バスとタクシーの乗入れはようやく実現している。しかし反面では、両館に隣接する自然文化園が有料化されたために、境界に鉄柵が張りめぐらされ、エキスポランド方面からの観客の足は遮断されてしまった。旧万博美術館だった私共の館は、いうまでもなくこのエキスポランド側を正面として設計されている。簡単に廻れ右はできないので止むなくの背面営業だが、美術館の容姿は一応別としても、右の措置は当然ながら観客減へとつながった。

そして昨半夏、国立国際美術館に転動してからまだ半年に満たないが、この正月で開館五年目に入ったばかりの当館は、国立四美術館の中でいちばん若く、また不利な諸条件の下にあるように思われる。それも突きつめていけば、交通の不便さに最大の原因が求められる。大阪の万国博覧会の跡地である万博公園内に、かつての万博美術館の建物を利用して発足したのだから、当館は明らかに公園型であるが、最初に大別した市街地型と公園型のほか、「陸の孤島型」を追加したいほどの不便さである。

国鉄ほか四線の最寄りの駅から、いずれも本数の少ないバスで十分ないし十五分乗り、バス停で降りてから十分歩かないと美術館にたどり着けない。ある夏の日、炎天下のこの

徒歩往復のために私は軽い日射病にかかった苦い経験がある。何故、バスを公園内にも乗入れさせて、国際美術館、民族学博物館、日本民芸館、日本庭園、万博ホール、これらの施設にとり囲まれた通称文化広場にバス停を設けないのか。人々から異口同音に浴せられるのが、この質問であり叱責なのである。車で来る人のばあいも、最寄りの有料駐車場から徒歩十分を要し、それも初めての人へ入れべき駐車場の発見が困難なくらい指示標識が不備のようである。

大阪の万博以後の公園内新施設は、国立民族学博物館、ついで国立国際美術館の二つで

差はあるにせよ、私共の国際美術館が共通した問題を抱えているからだが、その悩みについては後でまた触れることにしたい。

元に戻って、京橋の近代美術館は昭和四十四年竹橋の北の丸公園の新館に移転した。すでに京都国立近代美術館が発足していたので、名称は東京国立近代美術館となっていた。皇居脇に位置する北の丸公園には、武道館や科学技術館があり、そこへ近代美術館が進出することによって、いわば三拍子揃ったわけだが、これはそれまでの市街地型から公園型への大きな環境転換であった。京橋時代よりやや空気も良く、周囲のせせこましきから解放され、類焼等の危険もなくなったが、他方では交通はいささか不便になり、しばらくは観客層の足が遠のいたかと思う。私は当館に一年余り勤めたのち、昭和四十五年六月大阪万国博の最中に京都国立近代美術館に転動して十年間を過すこととなった。

京都の岡崎公園はまさしく東京の上野公園にあたり、京都市美術館、京都会議館、勧業館や図書館があり、美術、音楽、文化のセンターである。その一角に位置する京都近美はいうまでもなく公園型に属している。疎水べりで環境は良く、とくに春の桜花の季節が素晴らしい。毎年のように一宵を選んで花見の小宴を催したものである。

もとより公園は人の集まる場所だが、その

編集後記

○昭和五十七年度予算案が国会で審議されています。文化庁関係は十九ページにあるように、総額約三九九億円で対前年度約二億七千万円の増となっています。概算要求の段階から前年度予算と同額の範囲内で要求するといういわゆるゼロシェリング、補助金の削減などの方針のもとで、極めて困難な対応をせまられた予算編成でした。大幅な事業の拡大は難しいですが、文化行政の内容を着実に充実させるという点は配慮されていると言えます。

○去る二月二十六日、国立教育会館において、昭和五十六年度芸術祭の参加公演二九二の中から選ばれた芸術大賞、芸術祭優秀賞の授賞式が挙行されました。これでは本年度の芸術祭関係の行事は幕を閉じましたが、この審査に当たりましたラジオ合唱曲部門の畑中良輔氏及び音楽部門の上野晃氏に回顧していただきました。

(〇)

広告の問合せ・申込み先

株式会社 きょうせい 営業課
TEL(〇三)三二六八一—二四一(代表)

「文化庁月報」二月号

(通巻第一六一号)

昭和57年2月25日印刷・発行

編集文化庁

〒100 東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

発行所 株式会社 きょうせい

本社 〒100 東京都中央区銀座7丁目4番12号

営業所 〒100 東京都新宿区西五軒町52番地

電話 (〇三) 二六八一—二四一(代表)

振替口座 東京 九一六一番

印刷所 ㈱行政学会印刷所

年間購読料 二、一六〇円(送料共)
定価 一、八〇円(送料四五円)